

かい通年をとおして週二、九クラスのペ二九〇人が学んでいます。現在はアメリカ人の三千才の女性講師です。

ユネスコスクールについては新島学園中学校、高等学校が「国連」のユネスコスクールに正式に加盟承認されました。ユネスコ市民展での募金を新島学園のユネスコスクールの活動資金として、過日、活動母体である新島学園のインタークト部、並びに生徒会に少ない額ですが我々安中ユ協の気持ちとして寄贈いたしました。

## 沼田ユネスコ協会

『平和の鐘を鳴らそう』は二〇〇〇年、ユネスコが「戦争や争いがない二十一世紀をつくっていくために私たち一人一人ができるところから行動していく」と呼びかけたのを機に始められた活動です。この趣旨を受けて、沼田ユネスコ協会では二〇一〇年に第一回の活動を始め、翌二〇一一年からは東日本大震災で亡くなられた方々の御靈を弔い、被災された方々への激励を込めて、「民間ユネスコ活動の日」七月十九日前後の土曜日に毎年行っています。今年はユネスコ少女合唱団やボーカルの子供たちも含め、金剛院、正覚寺、長壽院、舒林寺の四寺院に合計九十三名が集まり、和平の鐘を心を込めて鳴らしました。この運動が年々市民に知れ渡り、参加者が増えている背景には、沼田市の広報誌やホー

ムペー  
ジ、報道



に取り上げられてることで、各社などが大きくなり、こうした支援や協力を支えに、

沼田ユネスコ協会としては関係者との連携をさらに深めるとともに、日頃からの地道なユネスコ活動を継続実践していくたいと考えます。

なお、今年度十月六日付で利根実業高等学校が利根沼田で初めてユネスコスクールに加盟が承認され、一月八日に盛大に承認証伝達式が挙行され、テレビや新聞で報道されたことは大変すばらしいニュースであり、利根実業高校の着実な実践により、今後利根沼田地方のユネスコスクール加盟校が増加するよう願っているところです。

(文責・大島俊夫)

## 桐生ユネスコ協会

昨年の桐生工協は、「富岡製糸場と絹産業遺産群」のユネスコ世界遺産への登録と、「関東ブロック・ユネスコ活動研究会in群馬」の開催という、二つの大きな流れの中で過ごしました。

「富岡製糸場と絹産業遺産群」が、我

が国十八番目の世界遺産となつたことは、まことに喜ばしい、おめでたいことでした。今日に至るまでの富岡ユネスコ協会のご努力に、心から敬意を表したいと思います。

「関プロ研究会」では、主管の高崎工

ネスコ協会に大変お世話になりました。

須田実行委員長を中心に、関口会長以下県ユ連が一つになつて準備を重ねたことが、大きな成功に繋がつたと思います。

桐生ユ協も、及ばずながら責任を果たすことができ、ほつといたしました。

以上のようないいなユ連の大好きな流れに飲み込まれるように、昨年の桐生ユ協独自の活動はきわめて消極的となり、六月の定例総会と十一月の懇談会を除けば、五月の桐生市文化祭に「世界遺産パネル写真展」で参加したにとどまりました。

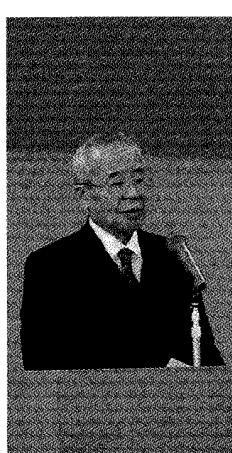
そんななかにあって、次の二つの重要な案件が水面下で動き始め、それに期待する声も徐々にあがつてることを、ここに密かに報告いたします。

①桐生工協事務局の、桐生市教育委員会への移管を、市当局に働きかける。

②群馬大学理工学部を核とするオリジナリ教育プログラム「未来創生塾」とのコラボレーションによって、ユネスコスクール的発想の応用展開を試みる。

これらを実現するためには、先ず会員の増強が急務です。統一地方選が一段落した後に、懸案事項の推進を軸として、今年の桐生ユ協の活動を本格化させたいと考えております。

本年も宜しくお願ひ申し上げます。



大泉ユネスコ協会の活動は三つの委員

## 大泉ユネスコ協会

今年度平成二十六年度は、当ユネスコ協会にとつては大変記念すべき年です。

オール群馬で取組んだ「二〇一四年関東

プロックユネスコ活動研究会in群馬」で大泉ユネスコ協会は第三分科会（異文化理解・国際交流）のコーディネーターの役割を任せられたことです。須田実行委員長のもと、企画立案から期日会場・予算等々十五回を数える実行委員会の会議を開き十月二十五日、無事大役を果たすことができて皆さん、ほつとしたこと

思います。

先日一月十七日には、当協会の十年に一度の記念事業、大泉ユネスコ協会創立二十周年記念式典を行うことができました。お忙しい中、来賓の方、県内各ユ協の方々には御列席頂き感謝申し上げます。

節目の年に当たり、二十年を経ての今日の事業内容を紹介させて頂きます。先輩の皆さん方が、誕生させ、育んでくれた大泉ユネスコ協会は、多くの方々の御協力、御支援を賜り運営されています。

大泉ユネスコ協会の活動は三つの委員